

## <先だって行かれる神>

ヨシュア記3：1～6



初めて行く場所は地図で調べられる。

これから先の未来、自分の将来の道は調べようがない。だから不安？だから恐ろしい？  
あなたが右に行くにも左に行くにも、あなたの耳はうしろから「これが道だ。これに歩め」と言う  
ことばを聞く。 イザヤ書 30:21

自分の方法ではなく、神を信頼し、神に聴いて従うという方法で  
見出すことができる。

いよいよ目的地、約束の地が目前！

ヨシュアは翌朝早く、イスラエル人全部といっしょに、シテムを出発してヨルダン川の川岸まで行き、  
それを渡る前に、そこに泊まった。【1節】

長い年月をかけた旅路だった

わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見、追い使う者の前の彼らの叫びを聞いた。  
わたしは彼らの痛みを知っている。彼らをエジプトの手から救い出し、乳と蜜の流れる地、約束の  
相続地に、彼らを上らせるようとモーセに言われました。わたしの民をエジプトから連れ出せ。

出エジプト記3：7

しかし、ヨルダン川は

レバノン山の雪溶け水で、水は岸一杯に溢れている。渡る手だてがない！

橋を作る？ 舟で渡す？ No！

あなたがたは、あなたがたの神、主の契約の箱を見、レビ人の祭司たちが、それがかついで  
いるのを見たなら、あなたがたのいる所を発って、そのうしろを進まなければならない。【3節】

本当にこの方法で川を渡れるのか？ 大丈夫？ しかし信じて一歩を踏み出した！

信仰による先取り

「あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、  
あなたがたに与えている」ヨシュア 1 : 3

「何が語られたか」ではなく、「誰が語られたか」が重要

あなたがたの身を清めなさい。明日、主があなたがたのうちで不思議を行われるから。【5節】

「身を清める」・・・切りははなす・聖別の意味がある。

新しい地へ向かう前に「身を清める」

自分の軸足がしっかりと神の元にあるか。

世の考え、世の価値観等々、ずるずると自分の内に入ってきていないか。

後ろの扉は完全に閉められているか。

自分自身をもう一度点検しなさい。

目の前の道を塞ぐ「現実」を見るか、先だって行かれる主に目を留めてついて行くか。

主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。詩篇 23 : 3

色んな道がある。

「義の道」はいのちに至る道。真実で確かな道。

自分の努力や頑張りで、つくることのできない「救いの道」

イエスキリストの十字架によって拓かれた道。